



豊成中学校第3学年
学年だより

H31. 4. 4
No.2

最高学年としての生活がスタートしました



3年生になって

鈴木優衣さん

あっという間に二年が過ぎて、今年度からはついに三年生になってしまいました。早く二年生の気分は切りかえて、三年生からは、次の二つのことと向き合おうと思います。

一つ目は、勉強です。受検生になってしまったので、毎日の一人勉強、授業のワーク、受検用テキストなどを、どんどん進めていきたいです。高校の授業は、予習をしなければ分からないことばかりになって、ついていけなくなる、という話を聞きました。今までの私は、授業の復習に特に力を入れてきました。受検に合格して、高校生活を楽しむという夢を叶えるために、予習のくせをつけて、毎日一生懸命勉強していきたいです。

二つ目は、人に伝えるということです。私は、前に出て話す、授業での挙手、人との会話などが得意とは言えません。それは、恥ずかしい、相手にどう捉えられるか不安、という気持ちがあるからそのため話したくても話せなかったということを振り返り、落ち込む場面が、二年生では特に多くありました。それは、もやもやして、気持ちが良いものではありません。だから、今年度は、同じ後悔でも、やらなかった後悔より、やってみて失敗してしまった後悔の方を味わおうと思います。様々な失敗を経験して、卒業する頃には、自分の気持ちをしっかり話することができる人になりたいです。

一年後には、卒業式があります。「がんばってきた」と泣けるような日にするために、そして、その先も楽しく過ごすことができるように、まずは三年生としてのこの一年、嫌なことから逃げずにがんばりたいと思います。



歓迎の言葉

小松陽向さん

春とは名ばかりの肌寒い日が続いていますが、そうした寒空の下でも時折空から降り注ぐ陽の光に、春の気配を感じるようになってきました。

先生方、ようこそ豊成中学校へいらっしゃいました。新しい先生方をお迎えして、新しい一年が始まる期待で私たちの胸はいっぱいです。

ここ豊成中学校はたくさんの自然に囲まれています。そんな自然に囲まれた豊成中学校で力を入れているのは森林環境学習です。桜の植樹や十六沢城趾での木の伐採など、普段は体験することのできない活動を通し、自然の大切さや、自然を守ることの大変さを学び、環境を守るために自分たちに何ができるかを考えることができるようになりました。そしてこの豊成中学校の一番良いところは、一人一人の役割が大きいところだと思います。小規模校ですが、その分一人一人の役割が大きく、活躍の場が多いです。郡市陸上大会では、全校生徒の半数以上が選手として出場しています。また、豊中祭では複数の部門をかけもちし、一・二年生は新人駅伝の練習もしながら、全校で協力してがんばっています。そして、さまざまな変化に気付いてすぐに行動に移せるのも良いところの一つだと思います。

互いに助け合いながら、成長していける豊中生です。でも、これから先、悩んだり、迷ったりすることがあるかもしれません。そんな時は、どうか私たちに力を貸してください。そして、一緒に豊成中を盛り上げていきましょう。よろしくお願いします。

優衣さんは、昨年度の振り返りから、今年は得意でないことにも逃げずに挑戦し、がんばってきたと泣けるような卒業式にしたいことをしっかりと自分の言葉で伝えることができました。

陽向さんは、当初用意していた時候のあいさつを、ここ数日の天候と照らし合わせ、自分で判断し、直前に変更しました。素晴らしいです。

その他の子どもたちも、担任発表後の学級活動で私たち学年部スタッフを拍手で迎え入れてくれたり、教科書配布を進んで手伝ってくれたり、年度初めを張り切って迎えた様子に心温まる思いがしました。

また、他学年の先生からは、3年生の表情（うなずきながら話を聞く様子や笑顔が多いこと）を誉めていただきました。最高学年としてのスタート、上々です。